

ムハンマド ナズィ フ ハ リド エジプト出身の元キリスト教徒

:

明:

ムハンマドは他の 宗教からは 出すことのできなかった、イスラ ムの 味を り立てたてられた 面について述べます。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: ムハンマド ナズィ フ ハ リド

日 1 Aug 2015

集日 31 Aug 2015



私はエジプト アラブ共和国のマンス ラ市で、宗教をあまり重要 しない一般的なキリスト教徒の家庭に生まれました。私たちは祝祭日以外には教会に行くことはありませんでした。私たちにとって宗教とは必要な に行う一 の 礼でしかありませんでしたし、それらの 礼における言 も理解していませんでした。それらを理解してはいなかったものの、私の家族は 知な者たちが るような盲目的な狂信の状 で、その を知らないにも わらず、それを失うことを怖れていました。私自身は、一 たりともそうした感情を持つことはありませんでした。教会の集会はあまりにも退屈すぎたため、一度も最 まで座り通したことはありませんでした。私はいつも倦怠感と焦燥感にとらわれており、自分は彼らの一 ではないということに 信を抱いていました。いにしえの偶像崇 者たちの寺院のように 画やアイコン、偶像で たされた 所に、私は 和感を感じていました。その 私は

えることの無い欲望と情 から に 中するようになり、それによって私の能力や知 は刺激を受けるようになりました。

数々の疑 が私の に浮かぶようになりました。それは未 拓の地に甘美な果 をもたらす良の を くために を起こしているかのようでした。そのときから、自分が生まれ育った宗教に する疑念を抱くようになり、それは私の考え方を暴力的に、そして完 なきまでに叩き しました。全能なる神が人 という形をとって地上に降り立ち、罪人たちが彼に暴力をふるい、彼の に唾を吐き、最 的に拷 した上に十字架に磔にしたという（キリスト教 の）主 に し、私の心は感情的に、私の は 理的にそうした概念を拒 しました。たとえば、それがキリスト教徒たちが言うように、彼らの父であるアダムを赦すためという名目であったとしてもです。神には三位一体という概念があることも、それを真 としては めませんでした。なぜなら神が唯一であるなら、何一つとして神に比べ得るものはないはずだからです。

三位一体 とは、最 的には神の唯一性を分割させてしまうもので、神の 光はそうした 解とは く なものです。イエス キリストの十字架への磔が人 に する 罪となること、そして父 子 から成り立つ三位一体といった信条が、キリスト教、言い えるならイエス キリストの神格性における根本教 です。私はそうした信条を自分の考え方や信念、 信の中から完全に排除しました。そうして全ての りや 信を取り除いたのです。

彼らは、知 を通して健全な信仰を得ることは不可能であるといいます。なぜなら、それは人 の が り知るには崇高すぎるからだそうです。しかし私は、もし人 が正しく知性 を 使し、欲望や固定概念、既成のイデオロギ を除外するならば、 にアッラ への るぎない信仰という富を、かれの至高なる全能性とかれのまばゆいしるしの中から 出すことができるはずだと 信しています。それらを知るのであれば、私たちは羞 心と 力感の中に服 するしかないのです。それゆえ、私は 固たる信仰へ く疑念の山を り越え、イスラムというアッラ の真の宗教に辿り着いたのです。

示宗教

私はユダヤ教やキリスト教だけでなく、教、道教、ゾロアスタ 教なども学びました。それらの一部からは、人 を正しい行いへと く高い 理性や哲学のようなものを 出すことができました。しかし、アッラ の定 を明 に述べることに しては、それらは世界の 事の一部をそれぞれ受け持って司る神々の存在を肯定するか、もしくはアッラ を地球上の生物に似通った有形の存在として提示します。それらの神々は重要な活 だけでなく ふざけのような にも じ、怒りをあらわにしたり、 食をしたり、一般的に生き物がとるような行 をとります。

しかしイスラームは自然な宗教です。全能なるアッラは、それをいかなる物理的・有形さからも清め、精神性・清性における最高の段にまで高めました。イスラームは、アッラが意思、智、裁量、知と威を有していることをします。イスラームによれば、アッラの数々の美名は、かれの存在からいかなる状においても切りすことのできない特であるとされます。また、イスラームは他のいかなる存在とも共有されることのないかれの唯一性、そして以下の112章で述べられているように、その存在の永性もします。

[illegible]

このように、私は崇高かつ神 聖な宗教であるイスラ ムに惹かれました。 示 宗教の中でも最も かつ完全に昇 された宗教であるイスラ ムは、背教的または の教 とは なのです。

イスラ ム改宗

ラマダ ン月の8日、私は2人の知人と共に初めてモスクに足を踏み入れました。私の魂と意 は、 大なる信仰の において 化されました。私はそこで甘美な心地よい をし、救 への扉が かけられました。私の身体のすみずみにまで敬虔さの鼓 が天国の高みから 打ちました。そこでは一切、嫌 感や困惑を感じることはありませんでした。そのまばゆい光は私を内 からも外 からも照らし、本当の私が なのかを づかせてくれました。 しく、柔らかく、旋律的な内なる声が、これから人生の わりまで、私の道はイスラ ムなのだよと私にささやきかけました。 の 点を遥かに超えるその瞬 において、私は唯一 比にして全能者であり赦し深いアッラ の御前に立ちました。かれのいと高き魂は私を抱 し、 きに

渡った 失と不幸を えてかれの庇 へと立ち返るよう求めてきました。礼 が わった直 、私
はアル＝フセイン モスクの で 典を手に取り、その なる章句と明 な 智の海からの 蒙に完
全に 倒されました。これは“疑いの余地なき” 神の であり、そこに
“虚 は、前からも ろからも、近付ことは出来ない”（クルア ン41： 40）です。

“?????????????????????????????????????”?????15?9?

私が心と魂を めて最 の避 の として受け入れたイスラ ムを、アッラ がお受け入れになるよう、私は 虚に祈るしかありません。わたしは神への 情、そして なる地位を持ち、 比 なる卓越した性格を持つかれの 言者への 情と共にイスラ ムという宗教に入りました。私は常に 言者を敬 し、彼こそが すべき最も 大な人物であり、世界史において消えることのない を残した人物であったと く信じています。

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1944>